

# 鶴岡・庄内の活性化と

## 会員企業の発展を目指して

**昨**年の我が国経済は、「大胆な金融緩和」「機動的な財政対策」「民間投資を喚起する成長戦略」といった3本の矢を柱とする「アベノミクス」が推し進められ、2月の経済報告では、「景気はこのところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」としながらも、先行きについては、「海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」と判断されている。

一方、本市の経済情勢については、3月市議会の市長提案説明では、「有効求人倍率は継続して1.0倍を超え、新規高校卒業予定者も高水準を維持している」ものの、「個人消費は依然として弱い動きがみられ、総じて景気の全体景的な回復には至っていない」との認識を示している。

本会議所の景気調査(平成27年10月から12月期においても、総じて厳しい局面が引き続いており、

今後の見通しについても、需要の停滞、製品・販売価格の上昇難などによる悪化を懸念するものとなっている。又、新規学卒者の就職状況は売り手市場に移行し、人材確保に支障があった会員企業も生じている。

本年1月以降、原油安、日銀のマイナス金利政策等により、金融市場は不安定な状況にあり、今後とも、平成29年4月に予定される消費税の引上げによる消費マインドの落込み、PPPによる農林水産業や地域経済への影響、中国経済の停滞やIS等のテロによる影響が懸念され、国内外の経済を巡る環境は予断を許さないと想定される。

このように厳しい経営環境下における会員事業所の事業継続、新たな事業展開に資するため、本会議所は、本年2月に「経営発達支援計画」を策定し、国の認定を申請しているところであるが、平成28年度からは、会員事業所の

これらを背景として、鶴岡市においては、昨年10月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したが、鶴岡・庄内における人口減少の抑制及び振興・活性化に向けて、各々の立場からの取組みを積み重ねることが肝要であり、当会議所も地域の総合的経済団体の立場から、その責任と役割をより積極的に果たしていく所存である。

また、会員事業所においても、新規学卒者等の地元就職、子育てしやすい環境の整備等に積極的に取り組まれることを願う次第である。



**平**成28年度における当会議所の事業運営にあたっては、中期行動計画に掲げる「鶴岡・庄内の資源・可能性、総合力に基づく産業の振興・地域の活性化」に向けて、この推進に係る各委員会の審議を踏まえ、6つの基本戦略及び6つの重点事業を

柱とした事業展開を図るとともに、厳しい経営環境下における会員事業所の事業継続、新たな事業展開に資するため、経営発達支援計画に基づき、新規創業・事業発展・事業継承、販路拡大・補助金・制度融資の活用等に係るきめ細かい支援を図ることとする。

また、会員事業所に対するサービスの拡充、部会及び青年部・女性会活動等を通して、会員事業所に対するお役立ち度の向上・会員事業所間の交流の活性化を図るとともに、会員加入の促進を図ることとする。

なお、これら事業を着実に推進するため、市を始めとする関係機関との連携強化、政策提言・要望活動の強化を図るとともに、事務局体制及び財政基盤の強化を図ることとする。



高校生職業観醸成セミナー

「ホームドクター」を目指し、これまで以上にきめ細かい支援を図っていく所存である。



「ぐるめウォーク」ユネスコ創造都市ネットワーク食文化部門への加盟が認められた城下町鶴岡の風情を感じながらまちなかを歩いてもらう企画。

**国**勢調査の速報値では、平成27年10月時点の本市の人口は12万9630人であり、人口減少に歯止めが掛からない状況にあるが、少子高齢化による人口減少は、地域経

済の縮小、都市機能の衰退などを招く恐れがあり、人口減少のスピードを抑制するとともに、このような状況下での地域の振興・活性化に資する手立てを早急に講じていく必要がある。

本市においては、慶應義塾大学先端生命科学研究所における研究成果に基づき、我が国のリーディング産業となることが期待されるライフサイエンス・バイオテクノロジー分野における企業集積・事業展開も進みつつあり、又、昨年9月に「ユネスコ創造都市ネットワーク食文化」への加盟を契機とし、ミラノ国際博覧会日本館イベント広場に出展したが、鶴岡の食文化やシルクに対する関心は想像以上に高く、これらに基づく産業の振興・活性化の可能性が改めて認識されたところである。

更には、市町村合併により拡大した優れた地域資源とポテンシャル、10万都市としては恵まれた高等教



「ぐるめウォーク」この日は参加者に12月の行事食「大黒様のお歳夜」の納豆汁や豆腐の田楽が振る舞われ大好評!

育・研究機関の集積など、鶴岡・庄内は、国内はもとより、国際的にも存在価値のある都市となりつつあり、これらを基とした企業の集積・事業の展開、若者の雇用の場の拡大、国内外の人々との交流の活性化も期待されるなど、厳しい社会・経済情勢ではあるものの、将来とも、この地域が発展・活性化するための条件は整備されつつある。

# 重点項目

## 1.基本戦略の推進

- (1) 先端性・伝統に基づく競争力のある企業の育成
- (2) 魅力ある商店の育成と中心商店街の賑わいづくり
- (3) 「自然」「歴史」「文化」をテーマとした観光の推進
- (4) 鶴岡庄内が培ってきた資源やポテンシャルの活用
- (5) 若者の地元就職の促進と意欲ある事業所の取組みを支える人材の育成
- (6) 地域活性化のための社会基盤の整備と推進策の見直し

## 2.重点事業の推進

- (1) ライフサイエンス・バイオテクノロジーの振興
- (2) 歴史的建造物を活用した街なかの賑わい・魅力づくり
- (3) 地域の優れた製品・農林水産物等の販売、観光客の誘致に向けた海外戦略の展開
- (4) 「食文化」による地域・企業の活性化にむけた戦略の展開
- (5) 内川沿いの地域の高度利用に向けた再開発
- (6) 人的交流の活性化、鶴岡の認知度・存在感を高めるためのコンベンション・イベントの開催

## 3.中小企業の支援強化

- (1) 経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
- (2) 経営分析・事業計画策定に係る支援
- (3) 需要・販路開拓に係る支援
- (4) 補助金・融資制度の活用支援
- (5) 経営指導員等による指導・相談

## 4.推進体制の整備及び会議所機能の強化

- (1) 推進体制の整備
- (2) 会議所機能の強化

